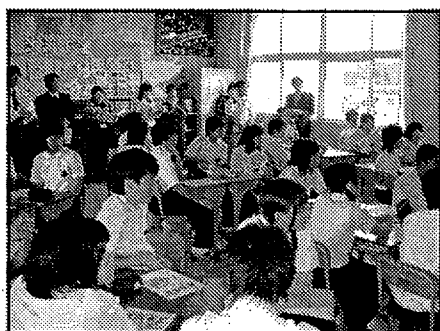
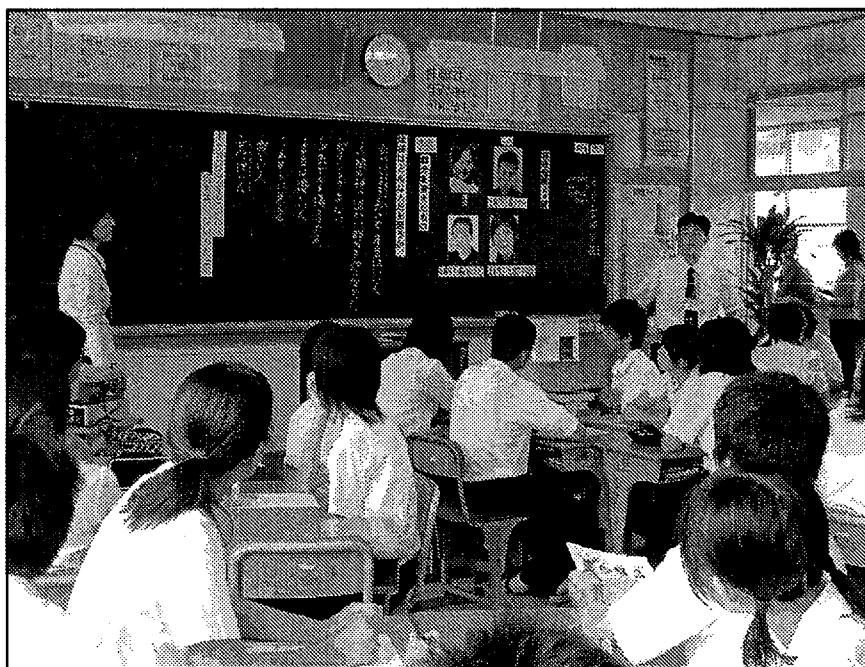
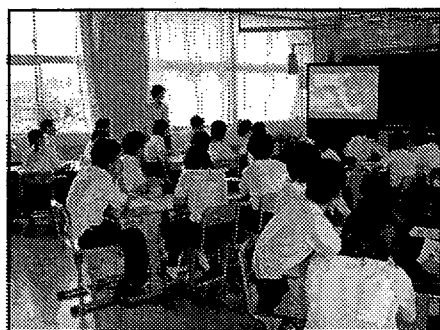


平成16年度広島県道德教育研究協議会
第10回定例報告会(全体報告会)資料

文部科学省指定校研究報告

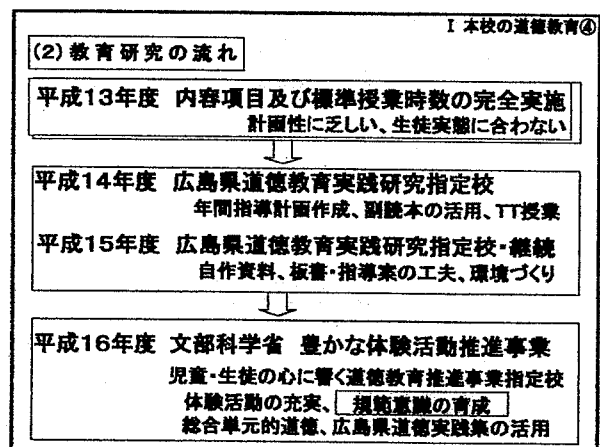
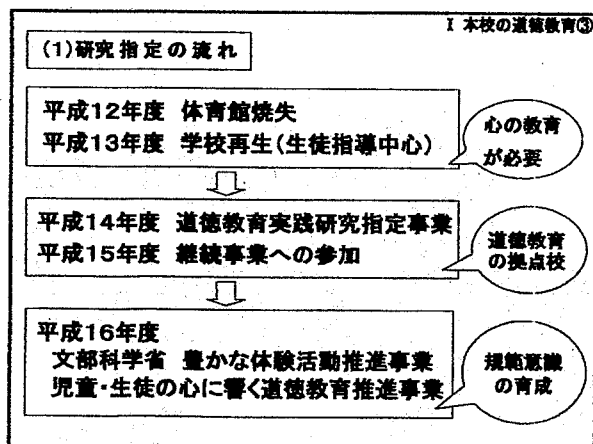
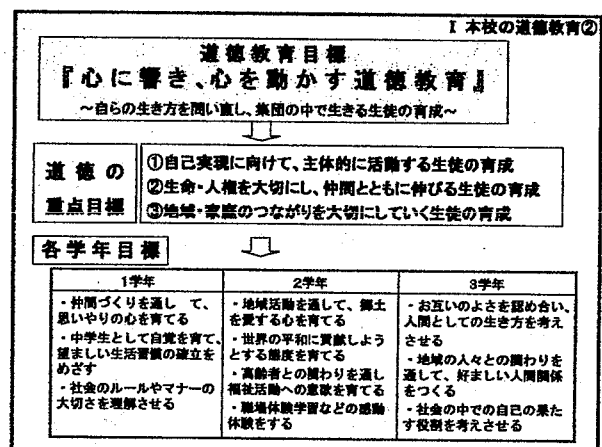
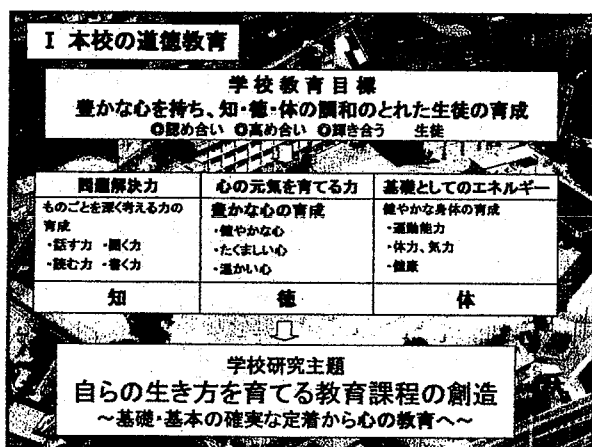
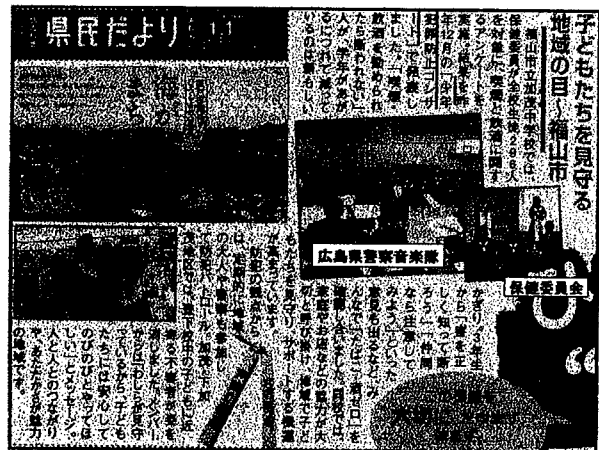
『規範意識を育てる道德教育』

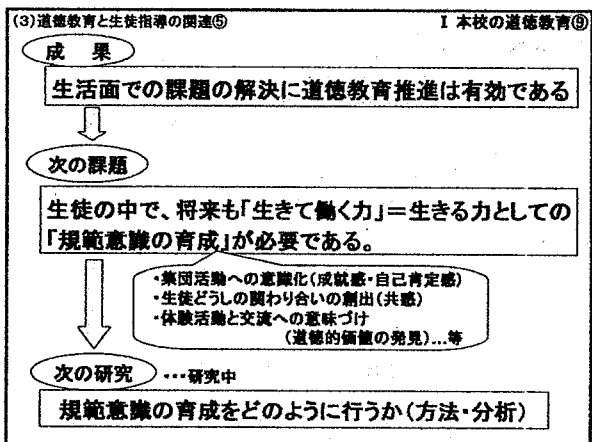
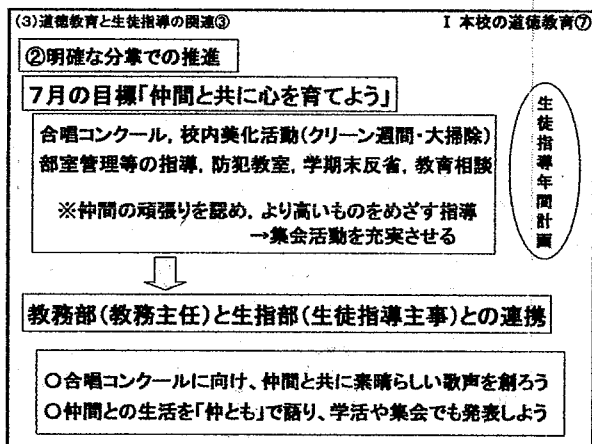
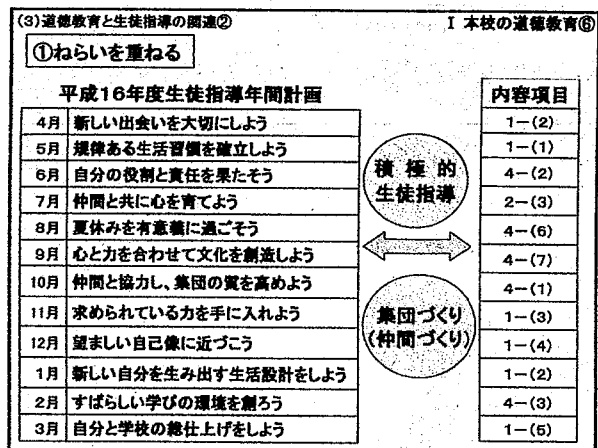
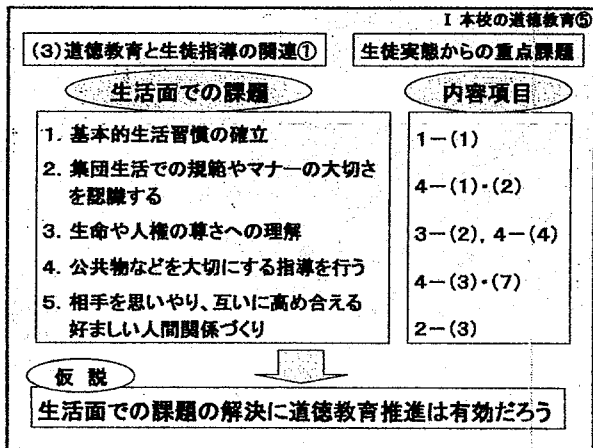


期 日：平成17年2月7日(月)

場 所：広島県立教育センター(大研修室)

提 案：福山市立加茂中学校





2002年11月14日(金) II 規範意識の育成②

最近の新聞より

小学生の補導、高校生上回る

歯止めがからぬ万引き低年齢化

警察の調査によると、小学生の補導件数は、前年比で約1.5倍に増加した。一方、高校生の補導件数は、前年比で約1.2倍に増加した。この結果、小学生の補導件数が高校生を上回った。これは、低年齢化が進んでいることを示している。また、万引きの件数も増加しており、歯止めがからぬ状況となっている。

店側「反省促せない」、すぐ警察通報

II 規範意識の育成③

全国アンケートを導入に「道徳の時間」を行う

歩み続けて

全国アンケートを導入し、「道徳の時間」を行う。これは、生徒の道徳意識を高めるための取り組みである。アンケートの結果を基に、道徳の授業や活動が行われる。また、生徒の歩み続けていくことが大切である。

疑問を主人公にせず 父親にする意図は...

II 規範意識の育成④

本校生徒アンケートとの比較

突然の雨で、持ち主の分からない傘があった場合

ベネッセ調べ 加茂中調べ

放課後、カサが紛失したことを受けて実施

II 規範意識の育成⑤

マンガ本を万引きする高校生が増えていると言われるがどう思うか？

ベネッセ調べ 加茂中調べ

一般論＝必ずしも自分を含まない

II 規範意識の育成⑥

友達が万引きしていたら

ベネッセ調べ 加茂中調べ

道徳精神、自分と集団の関係、友情など

II 規範意識の育成⑦

この先、万引きをしてしまうかもしれないと思うか

ベネッセ調べ 加茂中調べ

自分の心と向き合う＝生き方と関わる 道徳的価値感

道徳学習指導案

指導者名 赤田進一(T1)
前田正之(T2)

1. 日時 平成16年 11月17日(木) 5校時
2. 学年 第3学年1組(生徒数 31名)
3. 主題名 自主・自律 [内容項目 1-(3)]
※関連項目～憲法精神 [4-(2)], 公徳心 [4-(3)]
4. ねらい 人間の持つ弱さを克服し、自主的に考え、誠実に責任を持って行動しようとする心情を育てる。
5. 資料名 「中学生日記6 わが良き友は」(出典 日本放送出版協会) ※大阪書籍「生きる力①」
※補助資料 「モノグラフ・中学生の世界」(出典 ベネッセコーポレーション)
6. 主題設定の理由
 - (1) 主題観 現代社会は豊かになり、店は多くの商品であふれている。しかし、欲望の赴くままに金銭を払わずに私物化する万引きは絶対に許されない行為である。社会で生きている限り、自ら考え判断し、実行した行為の結果には責任を求められるものである。そこでは、自らの規範意識を高め、自らの欲望を律していくことが必要とされ、決して自らの責任を放棄したり他者の転嫁したりすることは許されない。そのため、自らの意志で誠実に実行する自律的な生き方が常に求められるだろう。
 - (2) 生徒観 この時期の中学生には自我意識も強くなり、自らの考えや正当性を強く主張する場面も多くなる。中には、それが問題行動を起こしても自己弁護や責任転嫁によって逃れようという形で現れる場合もある。本校の生徒においても同様で、物事の善悪は十分に分かっているが、自己に関わってくると先と同様な場面を多々見かける。生徒アンケート結果でも規範意識や自己抑制力が十分でない生徒も見られるだけに、社会で生きるということは誠実に責任を持った行動が求められることを、改めて生徒自身がしっかりと自覚することは重要である。
 - (3) 指導観 本資料では、スーパーマーケットや商店で万引きした息子と謝罪に回る父の姿が描かれている。罪の意識に薄い息子とは対照的に、親としてわが子が起こした犯罪に責任を感じ、父は誠実な態度で一緒に店々を謝罪して歩く。そんな父の真摯で、責任感の強い姿に共感を持たせたい。また、すぐ安易な行動とったり自己抑制力に乏しい生徒もいるだけに、社会においては自らの行動の結果には自ら責任を負うことをしっかりと考えさせたい。生徒意識調査データを提示しながら万引きは犯罪だということを再認識させ、心の弱さを克服できるような規範意識を育て、日常生活においても自主的に考え、誠実に責任を持って行動できる態度を育てていきたい。
7. 準備物 読み物資料、ワークシート、プロジェクタ、コンピューター、スクリーン、延長コード

8. 学習指導過程

	学 習 活 動	主な発問と生徒の心の動き	支援(○)と見取り(◇)等	
			T 1	T 2
導 入	1 アンケート資料①の提示	アンケート資料(生徒意識調査)を提示する ・万引きへの意識(全国データ)	○学校での事件に触れ、生徒の意識を高めていく	・機器操作
	2 テーマ提示	「責任をとるということ」		
展 開	3 資料を読む	資料を読む(教師範読)	・会話文は感情を込め、分担して読む。	
	4 父親の気持ちについて考える。	○父は自分の息子の何を哀れんでいるのだろうか。 ・この期に及んで隠そうとした行為。 ・バネなければいいという考えでいること。 ・十分な反省ができず、責任をとろうとしない姿。 ○陸人の笑いを見て、父はどう感じただろうか。 ・息子の謝罪は本物ではない。 ・あまりにも謝罪を軽く考えている息子が情けない。 ・自分の育て方は間違っていたのだろうか。	○授業を深めるため文中の言葉だけでなく読んだ感性で浮んだ言葉でも発表するように促す。	・板書
	5 父親の誠実な姿勢について考える。	○店員に叱れてながら、父は何を考えていたろうか。 ・息子がしたことだから、悔しいけれど仕方がない。 ・とにかく謝って許してもらわないといけな。 ・言い訳はしたくない。事実は事実だから 《補助発問》 ○陸人は父の謝る姿を見て、何を考えていたろうか。 ・こんなにもつらい思いを父にさせてしまった。 ・自分のせいで父がののしられ申し訳ない。 ・父は自分のことのように謝ってくれている。	○イラストにも着目させ、その場の臨場感を高め、親子の置かれた状況をしっかりと把握させる。 ○太字の生徒発言を深め自らの行為で父の生き方や人間性まで否定されている点も押さえない	・板書 ・イラスト提示
	6 歩き続ける父の姿から考える。	○一步一步踏みしめるように次の店に向かい歩き続ける父の姿を見て、陸人は何を考えただろうか。 ・もうやめてほしいけどそれできない。ごめんなさい。 ・自分のせいでこんなに辛い思いをさせてしまった。 ・万引きするんじゃないかった。もっとよく考えればよかった。	・許されず、責任も取れず、逃げることも許されない厳しい状況の中で父の姿を明確に捉えさせ考えさせたい。	○板書内容で色分けし生徒が考えを整理しやすくする。
終 末	7 アンケート資料②の提示	アンケート資料(生徒意識調査)を提示する ・万引きへの意識(本校データ、比較)	○板書やテーマと重ね、生徒の意識を問い、考えやすくする。	・機器操作
	8 感想を書く	○父親の姿から学んだことをワークシートに書く ・万引きはいけな、限った行動をした時には素直に反省し、自分の責任でしっかりと謝罪すべきだ。 ・父親の立派な姿に感動したが、本人のためは勿論だが、こんな思いを親にさせてはいけな	◇心の弱さに負けず、自分で考えながら誠実に責任を持って行動しようとする心情が記述から感じ取れるか。	・シート配布

9. 資料分析図 「歩き続けて」

主人公（陸人）の行為・行動	心の動き（発問）	道徳性
【家族で話し合う場面】 ・父から「母さんから聞いたよ」話しかけられる。 ・父から「今までに物を盗った店の名前と品物を全部書きなさい」と言われ、紙を渡される。 （父は母に甘いと言われたが、母を促し部屋から出る） （父は会社を早退し、紙を見て4軒とも回ると言い出す） ・「見つかったのはスーパーだけだよ。あとの3軒は一ヶ月ぐらい前だから、どこも知らないはずだよ」と父に言う。 （父は悲しげな目で見て、盗ったことに変わらないだろうと論ずる）	・たまたまに視線をそらす。 （ばれてないのだから行く必要はない） （見つかった店だけで早く済まそう） ○父は自分の息子の何を哀れんでいるのだろうか。	・心情
【スーパーマーケットでの謝罪の場面】 ・店を前に立ちつくす。父から励ますような強い口調で言われる。 （父：人に正面から向かっていく勇氣はもうなくなったのか） ・反発するような激しい目で父を見る。 （父：お前より父さんの方がもっと悔しいよ） ・父を無視するように顔を背けると、引きつった顔で店に入る。 （父が頭を下げて謝罪すると、一言注意されるだけで終わる） ・しおらしい顔でうなずいていたが、店から出ると父の顔を見てにんまりと笑った。 ・「こうやって謝りに来ているんだもん、そんなに深刻なことはないよ。」と父に語りかけ、ショッピング気分を店を覗きながら歩く。 （父は重い心を励ますように歩く）	・入ることに負担を感じる。 ・父の言葉に反発を覚える。 （行って謝ればいいんだろう） ・うまくいったと嬉しくなる。 ・もう何も負担を感じない。 ○陸人の笑いを見て、父はどう感じただろうか。	・心情 ・心情 ・心情 ・心情
【レコード店、文房具店での謝罪の場面】 ・ささやき合う周りの客達の視線を浴びながら立ちつくす。 （父は若い店長に罵られたが、言い訳せず歯を食いしばるようにして、ただ頭を下げた。） ・次の店に向かうが、もう笑顔はなかった。 ・唇をかみしめ人混みの中を歩く。楽しそうな親子連れとそれ違う。 ・話を聞いた年配の主人にいきなり怒られ、背ざめて立ちつくす。 （父は深々と頭を下げたが、散々嫌みを言われる。それでも歯を食いしばり、じっと耐えるようにその言葉を聞いていた。） ・自分のために罵られている父の姿を目の当たりに見る。	・昨日まで自分達もあのような楽しい親子であったはずなのに、それが今は…。 ○店員に叱れてながら、父は何を考えたのだろうか。 ・悔しかった。 ・これほどみじめなことはなかった。	・心情 ・心情 ・心情
【次の店へ謝罪に向かう場面】 ・二人は、次の店に向かい言葉もなく歩いた。 ・一步一步踏みしめるように次の店に向かう父の姿を見る。	・自分のために歩み続けている父の姿に耐えられなくなる。 ◎一步一步踏みしめるように次の店に向かい歩き続ける父の姿を見て、陸人は何を考えたのだろうか。	・心情

道徳ワークシート：「歩き続けて」

3年()組()番()



【隆人について】

- 父親に盗った物全てを書くように言われた隆人には、その時点でちょっとは罪悪感があったと思う。でないと一ヶ月前のことは思い出せない。話の中では反省していない所もあったけど、クセになる前に大人の人達に止めてもらえるのは、とても幸せなことかもしれない。
- 情けない……ずっとこの時間この言葉が頭の中を舞っていた。万引きなんて筋が外れすぎている。僕が父親だったら息子に対しても、自分自身に対しても「なぜこんな事になってしまったのか」と情けなくて仕方ないだろう。2軒目で謝罪する父の姿に罪の意識が少しは生まれたが気付くのが遅すぎる。3軒目で父親はものすごく責められていた。父親はもちろん、隆人も情けなかっただろう。これで隆人は良くなるのだろうか。もう大丈夫なのだろうか。
- 父に本当に悪いことをした、罪の重さを知ったから絶対に同じことは繰り返したり、自分の悪い心を許してはいけない、自分を良い方向へ変えていこうと思う。この授業でいっぱい考えられて、本当に良かった。
- 隆人の気持ちが私には絶対に分からない。私は両親に「情けない、自分にも責任があるのでは」といった思いを一生させたくない。だから、アンケートの傘も万引きも自信を持って「絶対にしない」と答えることができた。自分の息子がこんな風になってしまったと気付いた父のショックは本当に大きかったろう。
- 僕には隆人の考えが分からなかった。普通なら1軒目で自分のしたことの罪の重さが分かるはずなのに、なんで笑えるのだろう。父さんはいい人なのに、隆人のしたことと色々と言われてかわいそうだった。僕はこんな人にはなりたくないし親の謝る姿も見たくないの、ちゃんと自分の行動には責任を持ちたい。

【父親について】

- 父が「自分の子がこんな子になってしまった」という言葉がすごく印象に残った。その父が軽蔑されていた。僕はこんなことは絶対にしなかった。
- 万引きした息子より(保護者の)父親が責められるのも分かるが、やっぱり父親がかわいそうだ。信じていた息子に裏切られ店員にも責められ、精神的に辛かったと思う。さらに反省のない息子の姿にもっと傷ついたろう。最後の店のことは書いてなかったけど、父親の気持ちは隆人にはきつと伝わったと思うから、罪の重さを感じて実感(謝罪)できると私は思う。
- 父親が息子と一緒に謝り行ったのは、親自身が息子にとっての道しるべのような役割をし、誤った道から正しい道へと導くためだと思う。だから、父親は息子のために歩き続けているのだと思った。
- 父は万引きした息子に(大声で叱らず)静かに書くように言った。これは優しいように見えるけど、厳しいやり方だと思う。だから、謝罪する中で息子は段々と罪の重さに気づけてのだろう。また、自分のために言い訳もせず黙って叱られてくれる人がいることは、息子にとってすごく嬉しい存在の人だと思う。この父の姿をしっかりと見て育てて欲しい。父をしっかりと見習って欲しい。
- 私が子どもを産んでお母さんになって、もしこの父親と同じ状況になったら、子どもに同じようにしたいと思った。「万引きはいけない」と口に出して言っていないけど、息子のために文句を言われてもじっと耐えることで隆人に反省させていた。隆人の父は本当にスゴイと思った。
- 私はこの父親のやり方はあまりいいとは思いません。母親が言っていたように甘やかしているのではないと思う。父親が隆人を怒らなかつたのは情けなかつたかもしれないけど、ちゃんと叱る時は叱るべきだと思う。あと、父親も多分、自分の責任だと思ったから一緒に謝りに行ったのだと思うけれど、隆人にも何かひとこと言わせるべきだと思った。
- 私はこの親子を見て、こんな風な親子を見たこともないし、ちょっと腹も立ちました。万引きという絶対にしてはいけないことをやったのに、怒りかたが甘いと思います。そう思うと、私の両親はしっかりしているなあと思いました。いくら子どもでも自分で責任を取らなくてはいけないし、自分で解決しないといけないと思います。
- 隆人の父さんは、すごいいい人だと思ったし、しっかりした人だと感じた。ただ叱るだけで終わらせず、自分も仕事を早退して一緒に店を1軒ずつ謝りに行ったことは勇気のいることだと思う。私なら笑っている隆人を怒鳴るけど、この人はあえて何も言わずにいた。自分から罪の重さを知ってもらいたいのだと思う。だから、次の店で叱られている姿を見て、隆人も何かを感じ取れたのだと思う。ただ形だけ謝るだけでなく、心から反省することが大切だと思いました。

【責任を取るといふこと】

- 今まで責任を()は自分だけだと思っていた。でも、自分がしたことと周りの人が自分以上に怒られ責められて、責任を取らなくてはいけない場合もあることが分かった。
- 今回勉強したこと一番思ったことは、「自分で責任を取れないことはしてはいけない」ということです。隆人も自分で謝れなくて、代わりに父が責任を取っていました。「父が甘やかして育てたから父が責任を取るべきではないか」という気持ちもあったけど、やっぱり本人の責任だと思います。
- 自分のしたことを誰かのせいにならず、最後まで責任をもつべきだ。見つかる見つからないの問題でなく、最初からしないことだ。それがいつか大きな犯罪になることだってあるし、いたずらであっても謝っても解決しないことも起こりうるからだ。
- 長い人生の中では、当然大きな失敗はある。中には、一生その人の中に残る、いや残しておかなければならない失敗もある。隆人にとっては自分が万引きをしたということ、そして父と謝罪に行った日のことを忘れてはならないと思う。
- 親は子どものしたことなら、謝らなくてはならないことが分かった。親を悲しませないような正しい生き方をしようと思った。僕は完全に自分で責任を取れるまでには成長をしていません。でも、14歳を越えてしまったので、悪いことをすれば罰せられます。だから、善悪の判断や犯罪を犯す重大さを知っていかなければいけない、知らなかったでは済まされないと思います。全ての責任を自分で負えるようになるまで、特に自分の事だけでなく他の人のことまで考えて行動していこうと、堂々と自分のしたことが言えるような行動をしていきたいと思いました。

【どんな人になりたいか、どんな生き方がしたいか】

- 僕は親に心配をかけるような人にならない。自分の弱心に負けず生きていこうと思う。
- 今まで善悪について深く考えたことはなかった。今日の授業でよく考えた。やはり善悪の分かる人間になりたい。自分のやったことにはちゃんと責任を持たなくてはならないと強く思った。
- 自分のしたことに責任が取れることができて一人前の大人になれるし、自立した生き方につながると思う。
- 最後まで一緒に謝る優しいお父さんだった。そんなお父さんのように生きていきたいと思った。
- 僕は将来子どもを持ったら、仕事も大切だとは思いますがそれ以上に大切な子どもをしっかりと育てたいと思った。全ての人は色々な立場や関係でつながっている。子どもでも大人でも、老人でも人と関わって生きていくことが大切だし、必要だと思う。子どものしている事やしようとしている事にちゃんと目を向けて、関わっていききたいと思った。もし、この立場の父親が僕なら、何より子どもに自分のやった事の重大さを知ってもらいたいし、そのためなら幾らでも謝ることに耐えられると思う。(謝罪を通して)周りの人にかかる迷惑がどれだけのものか知ってもらいたいと思います。僕自身も絶対にこのような事がないようにしていきたい。自分の子どもにも、こういう事を分かってもらいたい。

【自分と重ねて】

- 授業ではあんなことを言ったが、実際の自分には責任感というものがちゃんとあるのだろうか。今までの人生を考えると無かったんじゃないかと思えてきた。僕も今まで親の信頼を裏切ったり、人から信用されない寂しさも味わった。だから、それを取り戻すように頑張ってきた。これからも、周りの信頼を裏切らないように、自分の行動の一つ一つに責任を持ちたい。
- 雨の日、私も傘を盗られました。私には一緒に返る友達がいなかったから濡れただけで、きつと濡れて帰った人もいると思う。どんな気持ちでそんな事をするか分からないけどやめて欲しい、というより人の気持ちを考えて行動することを知って欲しい。自分ひとりで責任を負うことのできるかを考えた方がいい。自分が悪い事をしたせいで、家族にも迷惑がかかります。みんなでそんな事を考えていければと思います。
- 万引きをしても何とも思っていない息子を見る父の気持ちは本当に辛いものだと思う。悪いことをしたという自覚がない息子に育ててしまったと反省したかもしれない。でも私は、やっぱり隆人が罪を自覚しないといけないと思う。万引きを謝罪し許してもらえたからといって、笑ってすませるような人間には私になりたくない。私が悪いことをしたら、いびられるのも責められるのも親だから、私は親に自分のことで苦しい思いをさせたくありません。だから、私は周りの友達も(万引きをしようとしていたら)絶対に止めるし、自分がしたことと誰が責任をとるのかをきちんと教えたい。加茂中でも人の物(傘)を勝手に使って使っている人がいるらしいが、もし私がそういう人を見かけたら絶対に注意して、そんなことを許されないような加茂中にしたい。世の中、万引きを軽く考えている人も多いようだ。本当は「周りから注意されてやめる」ではなく、きちんと「いけないことをしている」という自覚を持ってほしいと思います。

○僕はお父さんはすごくいい人だと思った。僕だったら、とてもそこまでしてあげられない。でも隆人は父の気持ちも分からない上、「万引きは見つからなければいい」という考えを持っていた。僕はそのことがかわいそうに思えた。隆人の行動で損害を受けた人がいるのに、それに気づけていないのが残念だった。でも、父の姿から隆人の考えが少し変わっていったのが嬉しかった。今回の件は辛くて苦い思い出になってしまったと思うけど、これで隆人の考えが変わっていくといいな。

【アンケート、その他】

- 加茂中では、持ち主が分からない傘を90%以上の人は使わないという結果だった。しかし、小數だったけど使うという人がいたのが少し残念だった。これから先、人生は長い。責任の取れるような行動を取っていききたいと思う。
- 加茂中の多くの人が万引きをしてはいけないと思っていて嬉しかったし、注意するという人もたくさんいてすごいと思った。こういう人達がもっと増えていけばいいなあ。
- 加茂中の生徒の90%以上が注意をする人だった。加茂中はみんなすごく意識が強いと思った。
- 加茂中でも「傘を使ってもかまわない」という考えが少なくあった。だから、そんなことは絶対に起きないようにしていかないといけない。自分さえよければいいという考えになったら、他人に迷惑をかけるから。
- 加茂中にも「万引きをしてしまうかもしれない」と思っている人がいた。私は傘の件もあったので、もう一人もいないかなと思っていたので少し残念だった。もし万引きをしようとする友達を見つけたら注意してやめさせたい。

- 話を読み、万引きの罪の重さがはっきりと分かった。テレビで親や身近な人に言われて初めて自分がやった事に気付く人がいました。この話でも自分のことだけで家族のことを考えず、何度も万引きをしていた。自分で善悪が分からないのは、大変なことだと思う。父の歩き続ける姿を見て、今までの自分を後悔した隆人は、もう万引きはしなないと思う。これからは、また家族で新たに歩き続けていけると思う。
- 僕は万引きなど、犯罪は絶対にしない。犯罪をしていい事があるとは思えない。この話のように親に迷惑をかけ自分自身も後悔することになるから、僕は絶対にしない。隆人は4回も万引きをしたが、もしかしたら友達と一緒にする気はなかったけどついやってしまったのかもしれない。けれどよく考えれば、友達と一緒にする気がなかった首おうが、最終的に万引きをしたのは隆人だし自分の意志でやったのだ。逆に4回もやっていけば慣れも出てきて、もっとやったかもしれない。だから、親に見つかっていきつかけになったと思う。これを自分が犯した罪に対して父親が真剣に謝り、それでも店員に罵られている姿を見たら、絶対にまた万引きしようとは思わないだろう。今まで甘く見ていた責任を取るということの重大さを、父の姿からしっかりと感じ取っただろう。子どものしたことに責任を取るのとは親としては当たり前かもしれないが、ここまでするのはスゴイと思う。そんな父の姿を見た隆人だから、きっと責任の取れる人間にこれからなっていくはずだ。
- 私はお父さんはすごくいい親だと思えます。ですが隆人はいけない人だと思えます。謝る父の姿を見るまで、自分がどれだけのことをしたかに気づかないのいけない。どれだけの人に迷惑をかけをちゃんと考えるべきだったと思う。万引きは本当にしてはいけないことで、罪の重さを本人が身をもって感じるべきだと思う。お父さんが謝ったのは、悪いことをしたからといってもやはり自分の子どもはすごく可愛いし、大好きだったからじゃないかと思えます。隆人はお父さんの優しさを感じ取るべきです。あとで反省しても遅いし、反省するくらいなら（初めから）いけない事をしない。友達とケンカをして反省するのは恥が違うと思う。隆人は、まずお父さんの優しさを感じ取り、罪の意識を持つことが大切だと思いました。
- 父が言い訳もせずただひたすらに謝り続けたのは、隆人にもっと責任を取ることにについて考えて欲しかったからではないだろうか。父にとって辛いことだったと思うけど、罪を犯すことは簡単でも償うことは大変だということを分からせようとする姿はカッコイイと思った。自分の軽い行動でも他の人に迷惑がかかることもあることを頭に置いて、そして自分の行動に責任を持つことは大変だけど、それができる人になりたい。行動には必ず責任が伴うことなど、本当に色々と考えさせられた授業だった。もっと自分の中で考え、自分の生き方や考え方につなげていこうと思った。
- 今日の授業はとても身近なものだった。なぜなら、最近万引きをする子どもたちが増えているからです。あまり罪の意識がないから何回も万引きをしてしまうのだと思う。その中には「バレなかったらいい」と思っている人が沢山いると思います。そんな考えを持っているから友達や周りの人を巻き込んで、新聞やニュースで取り上げられるような重大なことに発展してしまうのだと思います。　　まで来ると、失った

信頼を取り戻すにはかなりの苦労や時間が必要になってくるし、もしかしたら信頼はもう戻らないかもしれません。だから私は絶対にしません。自分のしたことで沢山のの人に迷惑をかけたくないし、自分の親が謝る姿なんて見たくない。隆人も自分が万引きしたことで父親が店員に罵られて、自分のしたことの重大さを感じ、今後一切他人に迷惑をかけるようなことはしない、と心に決めたとします。父親も悔しかったと思うけど、自分の子どもがこんな人間になってしまったことを自分の責任と認めているところに、私は父親の愛情を感じました。この出来事によって、それぞれ考えることができたと思います。

○最初、万引きをした隆人は可愛そうな人だと思いました。善悪の区別がつかず、万引きという行為についての責任を全く感じてなかったからです。見つかった事が悪いのではなく、万引きをした事が悪いのにちっとも分かっていないので、本当に哀しい人だと思いました。父親はそんな息子を見て、「自分がどんなに罵られたも絶対に気づかせなくてはならない」と考えたんだと思います。私が父親の立場だったら、きっと4軒も謝りに行けないと思います。理由は辛いし、悔しいし、恥ずかしいからです。会社での立場もあるから、1軒しか謝りに行かないと思います。でも、隆人の父親はそれが分かっているのに謝りに行ったことに驚いたし、感動しました。隆人に対する父親の愛情がとても感じられました。隆人はもう二度と万引きをすることはないと思います。なぜなら、父親の姿を見て、自分がどんなに悪いことをしたのか、どんなに甘い考えを持っていたのか、父親が自分をどれだけ大切に思っているか、そして誰かが責任を取らなければいけないことに気づいたからです。私は隆人と父親の関係がすごくいいなと思いました。私も善悪の区別をちゃんとつけて、正しいと思うことをしていきたいと思いました。

【自分と重ねて②】

- 私は6年の時、地域の祭りで酔いつぶれ、多くの人に迷惑をかけました。父に「自分でこの後どうするかよく考えなさい」と言われ、私は会長さんの所に謝りに行きました。会長さんは「一人で来たんか。よお謝りに来たな。自分がしたことが分かったんなら、次からは大丈夫じゃな。家族にも謝るんだ」と言われました。私は「家族にも迷惑をかけたんだ」と思いました。それで家族に謝ると、「分かったんならええよ」と言われたけど、「家族はどんな気持ちだったのだろう」と思いました。この経験で、私は「自分の行動には自分で責任を取らないといけない」と思いました。
- 万引きは絶対にやってはいけないと思う。万引きは人の物を盗る犯罪だからです。この話では自分の両親に迷惑をかけ、悲しい思いをさせていた。怒られる時に本人ではなく、親が言われていた。僕も昔（万引きを）したことがあり、謝りに行ったことがある。その時に初めて悪いことをしたんだと思った。だから、友達が万引きをしようとしたら、絶対に止めようと思う。
- 隆人は謝ったら許してもらったら終わりだと思っている。僕は今まで何回も悪いことをしてきて、何度も親と一緒に頭を下げてきた。その時は本当に親に迷惑をかけてしまってショックだったし、考えさせられました。僕はまだ未成年なので、悪いことをしたら僕もだけど親も責任を取らなくてはならない。自分がやった事で自分が責任をとるのはいいけど、親にまで責任を取らせなくてはならなくなる。だから、隆人は今回のことで親に迷惑をかけてはいけないことは分かったと思う。あと責任を取るという重大さに気付いて欲しい。許してもらったら終わりじゃない。その後もちゃんと考えて欲しい。悪いことをしたら絶対にバレないことはない。（万引きは）いじめと同じく、謝ったら済む問題じゃないということをお父さんからも考えなくてはならないと思う。
- 隆人がした万引きは許される行為ではない。しかし、父にあんな悔しい思いをさせてしまったことを後悔している。失敗はあると思うがそれを次にどう生かすか、隆人はもう犯罪をしないともし自分で責任を取れるようになったと思う。この経験は、ある意味でよかったものと言えると思う。僕も色々なことで呼び出しをされているので、いけない事は分かっている。だから、入試もあるし、親にも迷惑がかかるし、自分のためにもならないし、人に迷惑をかければ傷つくかもしれないのもうしないようにしたい。
- 今日の授業で僕がすごく考えさせられたことは、最後に前田先生が言われた「責任を取るということ」です。実際に僕も親にタバコのことですごく迷惑をかけたことがありました。その時、僕はすごく父に怒られました。ただでさえ恐ろしい父にすごく本気で怒られました。あの時は「何でこんなことをしたのだろう」とすごく思ったし、ものすごく悔しかったです。でも父に「もうやってしまったことは、何をしても取りも戻せない」と言われました。また、僕がこんな事をしてしまったので色んな人にも迷惑をかけてしまった。クラブのメンバーや親、校長先生、担任先生など、もっともっと色んな人に迷惑をかけてしまいました。あの出来事は今でも申し訳ない気持ちでいっぱいです。でも、見つかったら良かったです。もし見つかっていなかったら、何か今でもやっていてそうすごく怖い。これからは決して誰にも迷惑をかけることなく、頑張りたいです。

「基礎・基本」定着状況調査結果から…

6月に全県一斉に2年生を対象に実施しました『基礎・基本』定着状況調査の結果が出ました。調査は、国語・数学・英語と生活と学習に関する意識と実態について行いました。調査結果は、各学校のホームページに掲載してあります。県内の中学校についての資料がありますが、各学校の平均点比べにならないように本校の課題やわが子の学習や生活についての課題を整理し頑張りたいものです。

加茂中としましては、各教科ごとにチームを組んで結果分析をし、今後の改善点を考えています。結果から見ると、教科の基礎・基本は毎日の学校生活や家庭生活が大きく左右しています。今後は全校体制に改善点を向けてとりくんでいく計画です。

[保護者として・・・結果についての考え方]

昨年の結果からいろいろと改善点を見い出し、とりくみました。その結果、加茂中学校の通過率は、国語・数学・英語とも県平均を上まわりました。特に英語の力はすばらしい伸びを見せています。それなりの授業改善や1年生での子どもたちの努力があったものです。今年度も更に改善点を検討し、基礎・基本の学力の確かな定着をめざして日常的な生活面での指導や授業改善に向けて頑張りたいと考えています。大切なことは、学校によって生徒実態も異なるので通過率の数字だけを比較するのではなく、授業のあり方や子どもたちの生活・学習の状況を見直す機会として、学力につながるよう考えてください。

家庭でできることに着眼してください。(朝食・時間を守る・生活の記録・TV)

[調査結果] 数字は通過率(%) (右は昨年度)

	広島県		福山市		加茂中	
国語	75.2	76.0	74.3	76.1	76.6	77.9
数学	65.1	64.9	62.8	63.7	74.1	75.3
英語	75.5	73.6	71.6	69.4	82.4	74.6

加茂中生徒の弱点

- ・物事を深く考える
- ・自分の考えをまとめて発表する(表現力)
- ・家庭学習(自主学習)
- ・友達のとのかわり

生活と学習に関する調査で特に注目したいことがらとして、

◎1日のTV・TVゲームの時間(月～金)	1～3時間……59%
	3時間以上……33%
◎1ヶ月の読書の冊数 (読書の傾向は増えている)	読まない……12%
	1～3冊……54%
◎朝食をとらないで登校する生徒	7%
◎一日の家庭学習の時間(月～金)	しない……1%
} 家庭学習の 時間は 増えている	1時間未満……26%
	1～2時間……53%
	しない……2%
◎休日の家庭学習の時間	

[加茂中としての改善点]

1. 基本的生活習慣の確立
 - ①朝食をとらせる指導を家庭をお願いします。
 - ②あいさつ(心からの)をする。
 - ③時間を守る指導をしていく
 - ④読書タイムの充実・・・本の紹介一年間30冊をめざして・新聞紹介
 - ⑤「仲間とともに」の記録・・・提出全員
前日の生活時間(学習、TVなどを記入し、TV・ゲームの時間を減らしていく)
 - ⑥課題を確実にやりきらせる・・・(土日の課題もやりきらせる)
 - ⑦自主ノートの充実・・・全員提出として内容充実(授業の復習、セミナー学習のまとめ)

2. 学習規律の徹底

- ①チャイム席を守る
- ②学習道具の準備をきちんとして授業を受ける
- ③注目して聞く・・・(全体に向けて発表)
- ④意思表示
- ⑤発表の習慣化・・・自分の考えをまとめてする
- ⑥班員みんなでお互いにかかわりあって学習をする(教え合い・注意)



3. ドリル学習の徹底

- ①朝の5分間ドリルとセミナー学習
- ②月の6校時の50分間ドリル

4. 先生たちも授業づくりの研究と実践を継続します!

- ・教材担任より二学期の教科配分表をもとに評価についての説明も受けていると思います。各単元の達成目標にもしっかりと関心を持って学習に取り組みましょう。

基礎・基本とは……

学習指導要領では、これまでの知識の教え込みの教育から、子ども達が基礎・基本を確実に身につけ、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自主的に判断しながら行動していく資質や能力などの『生きる力』をはぐくむことをめざしています。

そのためには、子どもたち一人ひとりに基礎的・基本的な知識や技能が必要となります。基礎・基本の力は、各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間において、体験的な学習や問題解決的な学習をとおして、好奇心や探究心・ものごとを深く考える力・判断する力・表現力などを育成し、自ら学ぶ意欲が求められます。

このように考えると、基礎・基本とは、『読・書・算』などの基礎的な知識・技能だけでなく自分の考えをきちんと持ってそれを表現する力や学び方を学びながら、いろいろな問題を探求していく力などをすべて含んだものと考えています。

以上のことより、加茂中学校としましては

- ◎教師一人ひとりの授業づくりに力を入れることはもちろんですが……
- ◎子どもたちが、生活のすべてのなかで上記のような力をつけていくことをめざしていきたいと考えています。学校生活全般を見直してみましたが、基礎・基本となる初歩的なものは、基本的な生活習慣が大切です。ご家庭でもTVを見る時間などを配慮し、継続的な学習習慣をつけるようお願いいたします。時には、子どもが毎日記録している「仲間と」を見てください。

加茂中だより

10
月号
No. 3

福山市立加茂中学校
2004年10月12日(火)

広島県中学校道徳研究大会

(参観日)が終わりました

＝多くの方々のご参観ありがとうございました＝

昨年は本校独自の道徳研究発表会を実施いたしましたが、今年度は主催も広島県中学校教育研究会道徳部会と福山市内の中学校の先生方を中心とした大会実行委員会となり、大会日程も大きく変わりました。しかし、本校を会場として11学級の道徳の授業と全校生徒による全校合唱を参観していただくよい機会となりました。300人を超える小中学校の先生方、そして多数の保護者の方々に来ていただき、熱心な参観や討議をいただきました。

混迷の時代と言われる社会の中で人それぞれがさまざまな価値観で対応し、何を頼るべきかが正しいか大人も子どもも迷っています。そんな時だからこそ、私たちはいつの時代にも不易である「心の豊かさ」を自信を持って子どもたちに伝えていきたいと考えています。

心の教育の中核をなす道徳教育をこれからも研究・実践しながら、本研究大会での多くの方々からのご指導をかてにこれからも全教職員が一丸となって頑張っていく決意です。

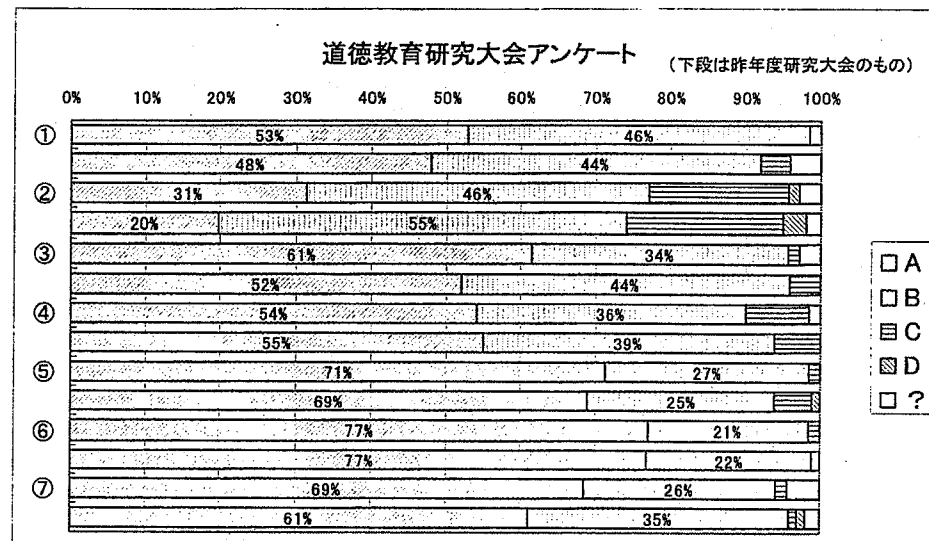
<道徳研究発表会 アンケートのまとめ>

1. 評価内容(質問事項)

- ①学級には温かい雰囲気があるか
- ②生徒は自分に振り返りながら自分の考えをまとめ、発表している。
- ③生徒は学習規律を守り、真剣に学習に取り組んでいる。
- ④先生は教材・発問・板書等の工夫をし、適切に進めている。
- ⑤教室・校内の掲示物が工夫されている。
- ⑥清掃活動が行き届き、教室・校内はきれいである。
- ⑦全校合唱では、生徒は楽しく生き生きと発表していた。



2. 回答集計 (A=そう思う B=ほぼそう思う C=あまり思わない D=思わない ?=わからない)



3. ご感想・ご意見

学校の中が大変きれい。すみすみまで掃除ができ、掲示もすばらしい。観葉植物などにも心配りを感じます。一人一人の先生達に(授業から)意欲・やる気を感じました。その気持ちが生徒の心を動かしていると感じました。

学校教育は、何を中心に取り組みを進めようとも、生徒に始まり生徒に終わるものだと思います。全校合唱の生徒の姿にすべてが表れていると思いました。あの生徒の姿を、私たちの学校の先生にも、私たちの学校のすべての生徒にも見せたいと思いました。あのような合唱をしている生徒がいるということはとても刺激になると感じました。先生方の指導に対して敬意を表します。私も正々堂々と勝負しようと思いました。

加茂中のきめ細かい取り組みに改めて納得いたしました。道徳の授業分析だけでなく、全教育活動で関連付け、とりくむことの大切さ。自分の学校でも広めていきます。

地域の人に支えられ、見守られた中の生徒のたちの生き様がきめ細かく語り合われる様子を知り、とても感動しました。人間社会の本来の姿の一端を見せてもらった思いです。地域の人たちと生徒達は社会の一員としていったいなのだと思いました。

廊下などで生徒さんがあいさつをしてくれて、大変気持ちよかったです。公開授業で窓と戸がはずされていたことで参観がしやすくて良かったです。

とかく自らの思いや考えを述べることの少ない中学生が、あそこまで発言できていたのは、とりもおさず先生方の取り組みの成果だと思います。

掲示物に工夫がされており、子ども達が大切にされているということがよくわかりました。日々の仲間とともにのつみ上げが活かされているなと思いました。

11月の目標は 各学年生徒として 求められる力を手に入れよう！

いよいよ2学期後半の2ヶ月となりました。

10月は、仲間と協力し、集団の質を高めることに努力しました。特に、どの学級も午後の短学活の充実を考え、班会議も5分間は持って、一日の学習・生活の反省に力点をおきました。また、各学年ともリーダーを中心とした動きも見られました。学年代議員会・合同班長会などをたびたび開いて、課題を見つけ、その対策を考え、取り組みを強化しました。

12月に向けて、学年の一人の生徒として、何が求められているのか、どんな力が必要なのかをしっかりと考えて、この1ヶ月でやるべきことに着手しましょう。具体的には

- ①自分の責任を果たそう
 - ・係活動 ・各種委員会の活動 ・班内の分担 ・仲ともの記録 ・自主ノート
- ②自らすすんで授業に参加しよう
 - ・学習規律の徹底 ・宿題をやり切って授業に臨む

《各学年の紹介》

11月の取り組みについて、1年生を紹介します。

- 11月の月目標：「求められる力を手に入れよう」
スローガン：自分の責任を果たし、学習規律を自覚する。
目 標：基本的な学習規律が身に付いているか確認しよう。
(注目・姿勢・机上整理・意思表示)
自分の責任を果たす。授業にしっかり参加する(宿題をやりきる)。
取 り 組 み：・班ごとに気づきを言っていく。(具体的な理由なども付け加える)
・注目するまで発表しない。
・合同班長会で学習規律について考えていく。(学年委員が会運営)

《毎日楽しく頑張っています》(仲間とより)

今日の道徳の時間に「いい日旅立ち」という資料をみて学習しました。私が加茂中学校でいいと思ったことは「あいさつ」です。みんな大きな声であいさつができています。これから加茂中でやっていこうと思うことは、知・徳・体の知に入っている一日一回は発表するというをやっていきなさいと思います。できるようになったらどんどんレベルを上げてたくさん発表できるようにしたいです。

「加茂中の一員として」今日私は授業を受けて改めて加茂中の生徒で良かったと思いました。加茂中は全校合唱も立派だし、クラブも楽しくできるし、毎日がとても楽しいです。だから、加茂中の一員として私はクラブと勉強をがんばって心を成長させて加茂中の一員としてはずかしくないような態度で生活していきたい。

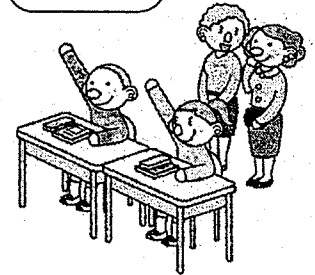
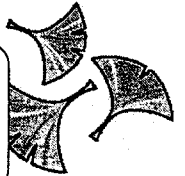
今日から学校開放週間です 子どもたちの様子をしっかりと見てください

11月1日より、広島県教育委員会が県内一斉で実施している「学校に行こう週間」に位置づけて、本校では行事などの都合により、本日(11月4日)より11月10日までを学校開放週間としました。実りの秋にふさわしい充実した学校生活をしっかりと参観してください。

＜学校開放週間中は＞

11月4日(木)	教科研究授業の公開(5校時全クラス)
5日(金)	教育問題懇談会 19:30～
6日(土)	オープンスクール 12:40より受付
7日(日)	加茂防災訓練(加茂中にて)
8日(月)	振替休日
9日(火)	生徒朝会・ALTによる英語指導
10日(水)	参観日・学級懇談会・登校指導

学校紹介
生徒発表
授業見学
クラブ見学



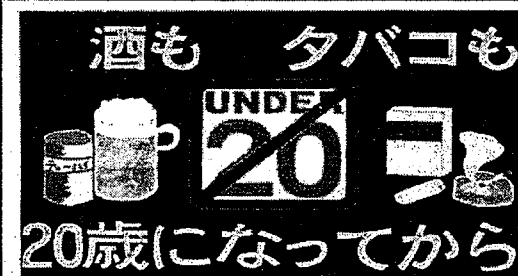
入賞おめでとう！

防犯ポスターの作品展に、多くの生徒が出品し、素晴らしい結果を得ました。

銀賞に入賞しました、3年生小川貴大君、1年生飯田峻介君の作品はティッシュペーパーの表紙にとりあげられました。

入賞者は次のとおりです。

- 銀 賞：3年生 小川貴大
1年生 飯田峻介
- 銅 賞：2年生 舟久保千菜美
- 佳良賞：2年生 山下沙也加



防犯ポスターコンクール 銀賞
福山市立加茂中学校 3年生 小川 貴大 くん の作品
福山東地区防犯組合連合会



みんながマルになれば
犯罪はきっと減る。

防犯ポスターコンクール 銅賞
福山市立加茂中学校 1年生 飯田 峻介 くん の作品
福山東地区防犯組合連合会

12月の目標は 望ましい自己像に近づく努力をしよう！

◎発言者に注目し、話に集中しよう

◎仲間とを杓一杯に書き、毎日をしっかり省みる

いよいよ2学期もあと2週間あまりとなりました。4月、9月の学期の初めに立てた自己の目標がどこまで実現されているか「知・徳・体」のそれぞれについて確認しましょう。そして、自分にできていないこと、不十分な事柄をはっきりさせ、これからの生活で改善すべきことにしっかりと努力しましょう。

仲間と共に学び合いながら、自分を伸ばす姿勢も大切です。仲間の話を聞いて、自分自身の考えをはっきりと持ち、発表していくことや仲間への注意や指摘も必要と思います。自分を伸ばすためには、仲間の声を素直に受けとめるように心がけてほしいものです。

こんな努力もあるよ。

毎日の積み重ねの大きな力を示しています。自分自身でやることにも挑戦していきましょう。

100日でできること！

1日に 漢字・熟語	10個覚えたら	$\times 100 = 1000$ 語
1日に 単語・連語	10個覚えたら	$\times 100 = 1000$ 語
1日に 計算問題が	5問 解けたら	$\times 100 = 500$ 問
1日に 重要語句を	1つ 覚えたら	$\times 100 = 100$ 個

どれも1日ではできない量ですが、100日に分ければ、1日分は、できそうな量です。継続する力があるかないかです。



感動いっぱい 少年犯罪防止コンサートでした

12月7日(火)は、PTA主催の「少年犯罪防止コンサート」が本校体育館でありました。広島県警察音楽隊のすばらしい音色と迫力のある演奏に、会場からはため息が聞こえるほどの感動の連続でした。又、全校合唱での「よろこびの歌」の共演は初めての試みでしたが、また一つ大きな挑戦ができたものと思います。

保健体育委員会の生徒アンケートの集計・分析による発表は、課題を明らかにし、これからの決意をアピールで訴えた充実した内容と、東警察署少年課の砂田さんより高い評価をいただきました。



<仲間とより>

今日、6時間目に警察音楽隊による演奏と保健体育委員の発表がありました。発表はともかく、演奏に釘づけになりました。迫力あるメロディにすごい威圧感、この人たち独特の雰囲気を持っていて、こんなものは真似することができません。それにあの一級品のメロディには感動しました。僕はこれを見てコペルニクス的転回なみに考え方が変わりました。音楽がこんなにすばらしいものだということも知らなかったし、これ以上すごいものを聞いたことはありませんでした。

今日6時間目に保健体育委員会の発表や警察音楽隊の演奏を聞きました。保健体育委員会の発表を聞いて思った事は、アンケートの結果で20歳未満の人はタバコを吸ってはいけないということを知らない人がいてびっくりしたし、タバコを吸ったことがあるという人も思ったよりたくさんいてびっくりしました。警察音楽隊の演奏は、体育館の床から振動が伝わってきて、とても迫力がありました。それに警察音楽隊の演奏を今日のように近くで聞けるのは一生に一度くらいすごいことなので、とてもいい経験になってよかったです。

今日の6時間目に少年犯罪防止コンサートがありました。最初に保健体育委員会のタバコとアルコールについての発表がありました。改めてタバコとアルコールの害について考える事ができました。警察音楽隊のすばらしい演奏は、私の心に響いてきました。マーチングの見事にそろった動きや演奏もとてもすばしかったです。

今日の防犯コンサート、すごい・すごい・すごい!!!の連発でした。最初のドラムのダンッ!という音で「はっ」としました。すごく勇ましくて堂々としていてかっこよかったです。せっかくしてくださったコンサートをムダにしないよう、警察の方々がコンサートに注いだ想いを自分で活かせるようにしたいです。まず自分、班、クラスへと防犯の輪がひろがってきた気がします。

<健康アピール>

加茂中生徒タバコ・アルコール0(ゼロ)をめざして!

- 責任ある意思決定ができる
- 仲間同士声をかけあい、注意しあえる
- ともにのびていけるようになる

育てよう! 強い心!
守ろう! 社会のルール!



1月 新しい年の幕開けです

2005年、新しい年の幕開けです。

新年にあたり、毎年話すことですが、人間としての生き方から、新年を考えてみると、新年というのは『初心忘るべからず』の初心にかえるための新年のことです。



新年おめでとう……というのは、新しく生まれかわることで、自分が自分の原点に立ち返る月です。それがお正月です。

今までの自分は、わがままをとおして自己中心になったり、自分勝手にしたり、自分を甘やかしています。だから、一年に一回そういう自分の中にあるいい加減な心に“活”を入れて、本当の自分に生まれかわるということです。

昨年までのあやまちや失敗を反省し、同じことを繰り返さないように、自分の原点に立ち返って自分の生き方を軌道修正するのです。そして、自分のことだけでなく、自分のまわりの人たちの幸せについて祈願するのです。

さて1月の目標は **新しい自分を生み出す生活設計をしよう!**

次のような視点で考えてみましょう。

1つ目は

現実的な目標をもつことです。

どんなことをしても必ずやりとげる。

そして、今の自分に必要な目標を「知・徳・体」について考えてみることです。

具体的には

知	——	家庭学習を一日2時間 テストの平均点を10点アップ 自主ノートで学習する(一日2ページ) 授業で発表〇回以上する
徳	——	読書を1ヶ月に〇冊 校内のボランティア 生徒会の仕事
体	——	規則正しい生活(仲ともに記録化) クラブ活動に毎日参加 昼食後に外で運動をする

2つ目は

心をきたえる(頑張る強い心をつくる)ことです。

「継続は力なり」といいますが、自分のきめた目標に向かって、それを続ける強い精神力をつくることです。そうした自分の強い心は、自分の大きな宝物となるはずで

3つ目は

本物の仲間をつくることです。

どんな時でも心の許せる人、何でも注意したり指摘ができ、お互いにわかり合える、お互いを追求していくことのできる本物の仲間(親友)をつくっていきましょう。

4つ目は

「仲間とともに」の生活記録の充実です。

毎日の日記を書きつづけることは、自分に向かい合い、自分を省みる自分との約束ごとです。本当の気持ちをしっかり出し、ここに書いたことは、先生との約束にもなります。自分を高め、成長させていく「仲とも」に、ぜひしていただきたいものです。先生たちもみなさん一人ひとりに語りかけられる大切なチャンスとして中味の充実に向けて努力したいと決意しています。三学期は「仲とも」を活用して、スピーチも意義あるものにしたいものです。

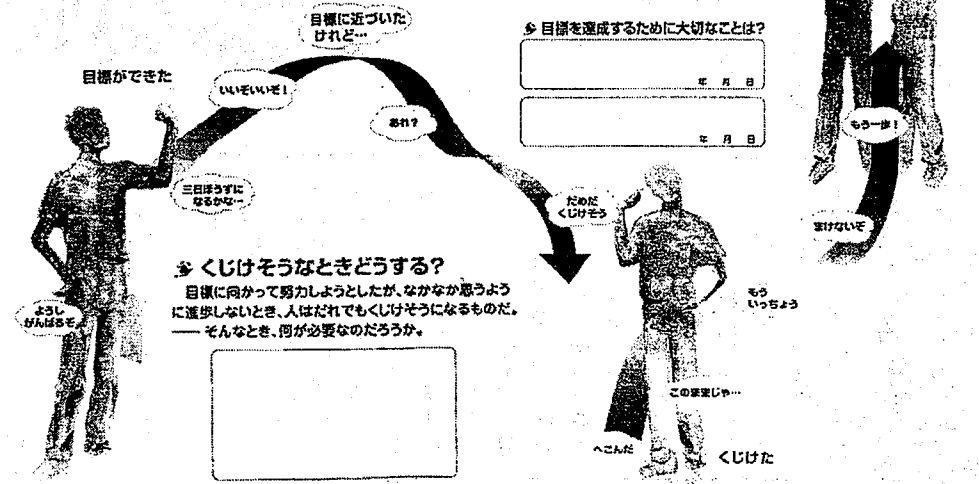
努力することって すばらしい

あなたが掲げた目標は

新しい希望や勇気を

つれてくる

ほんの小さな目標であっても...



新人駅伝大会で女子は入賞しました!

おめでとう。よく頑張りました!!

女子 4位 男子 7位



地域清掃

私たちの加茂中学校生徒会では、ボランティア活動の一環として十月二十八日（木）午後、生徒全員で地域清掃にとりくみました。

①日頃お世話になっている地域を感謝の気持ちを含めて清掃しよう。

②清掃活動を通じて、加茂町の自然やゴミ問題について考える大切な機会にしよう。

また、考えたことを日頃の校内清掃活動に生かしていこう。

③地域の方と活動を通して触れ合い、一緒に地域のことを考えていこう。

④ボランティア活動として、社会奉仕の精神を養うことに努めよう。

《地域清掃を終えて》

☆地域清掃がありました。三年二組は加茂川に入っている人もいて、すごく大変でした。私は、川の端の草がいつぱい生えているところをやりました。ごみがたくさんあったです。草とか痛いし、虫とかいっぱいあって、歩くだけで大変だった。地域の人と話したりもできて、すごくいい地

域清掃だったと思います。帰りに、地域の人に「わしもせんといけんかと思ってた所を中学生の子がやってくれて良かった。」って声を掛けてくれたので、すごくうれしかったです。これから毎日の掃除もがんばりたいと思います。

☆今日は地域清掃がありました。思った以上にゴミが多くて、トラックいっぱい積まれたゴミの山を見てみるとさすがにいい気持ちでいっぱいでした。一人ひとりが頑張ったら大きな力になるんだなあと思いました。地域の人たちともあいさつをかわしたり、ふれあうことができてよかったです。

☆すつごく楽しく加茂をきれいにできました。私が掃除した所は普通は入



れないような所でした。老人会の方々とみんな協力できたし、したんじゃなくて、させてもらった感じですよ。それに喜んでもらえてうれしかったです。

でも役に立てるようにゴミを拾いました。すると、持っていた袋がいっぱいになりました。地域清掃だけでなく、学校の掃除でも、同じく日頃の感謝を表し、きちんと掃除していききたいし、家でもゴミの分別・リサイクルというものをして少しでも環境美化に努めていきたいです。

二〇〇四年度加茂学区敬老会開催される

加茂学区町内会連合会副会長 小林茂美



去る九月二十日（敬老の日）午後一時より福山市主催による敬老会が加茂学区におきましても盛大に開催されました。前

日の準備には激しい雨に見舞われましたが、当日は雨も上がり残暑が厳しい中、多数の敬老会対象者及び来賓の方々のご出席を頂きました。

今年度の敬老会対象者は、一九三〇年（昭和五年）四月一日以前に生まれた七十五歳以上の方々

です。加茂学区内では男性二六五人、女性四一八人、松風園入所者六五人の合計七五八人で、最高齢者は百谷中町内会の佐藤トミコ様で一〇四歳です。また敬老会式典には二五六名の多くの方々のご出席をいただきました。

敬老会式典は加茂学区敬老会実行委員会 長岡伸会長の挨拶で始まり、続いて主催者の福山市北部支所庶務課今岡信人課長の挨拶と記念品の贈呈が行われました。

来賓を代表して福山市議会議員早川佳行様の祝辞に続き、敬老会対象者を代表して中野中町内会の松本久一様から謝辞を頂きました。最後に敬老会実行委員会藤井幸夫副会長の閉会の挨拶で式典を終了しました。

昨年度から敬老会対象者の会場の案内に、加茂中学校の一年生の生徒さんに応援をお願いしました。昨今は核家族化が進み高齢者と接する機会が少なく、最初は生徒さん選も多少の戸惑いは見られましたが立派に成し遂げて頂きました。式典終了後は自強高校の生徒さんによる司会で懇親会が始まり楽しいひと時を過ごして頂きました。

加茂学区

福祉だより

第17号

平成16年12月

加茂学区
福祉を高める会